

教科	地歴公民	科目名	歴史総合		
学年	1 年	類・コース	未来開進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 実教出版 歴史総合				
	【副教材】 実教出版 歴史総合ノート				

○学習目標

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

○評 価

定期考査 80% 各考査は、教科書・ノート・ワーク・プリントから出題する。

その他 20% プリント提出。

出席点。

総得点で評価する。出席すべき時間の3分の1以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ 歴史の扉 ・ 近代化と私たち	・ 歴史を学ぶ意義と、資料の読み解き方について基礎的な内容を理解する。 ・ 産業革命以降の世界の動きを日本の明治維新とリンクさせ複層的に理解するとともに、その後の帝国主義への流れを理解する。
2	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・ 二つの世界大戦の原因・経過・影響のみならず、戦争が帝国主義諸国の対立・抗争の結果起こった帝国主義戦争であったことを理解させる。 ・ 敗戦と占領、その後の国内改造が現在に及ぼした影響を考えさせる。 ・ 当たり前の国家としての主権を一部放棄して、経済成長路線をとらざるを得なかった背景を理解させる。
3	グローバル化と私たち	・ 米ソ冷戦と第三勢力、現代社会における国際対立と協調、科学技術の発達と現代文明、またこれからの世界と日本のあり方について理解を深める。 ・ 伝統的な日本の国柄を踏まえて、日本人として世界と対峙する姿勢を考えさせる。

教科	地歴公民	科目名	歴史総合		
学年	1 年	類・コース	アスリート躍進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 実教出版 歴史総合				
	【副教材】 実教出版 歴史総合ノート				

○学習目標

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

○評 価

定期考査 80% 各考査は、教科書・ノート・ワーク・プリントから出題する。
 その他 20% プリント提出。
 出席点。 総得点で評価する。
 出席すべき時間の3分の1以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ 歴史の扉 ・ 近代化と私たち	・ 歴史を学ぶ意義と、資料の読み解き方について基礎的な内容を理解する。 ・ 産業革命以降の世界の動きを日本の明治維新とリンクさせ複層的に理解するとともに、その後の帝国主義への流れを理解する。
2	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・ 二つの世界大戦の原因・経過・影響のみならず、戦争が帝国主義諸国の対立・抗争の結果起こった帝国主義戦争であったことを理解させる。 ・ 敗戦と占領、その後の国内改造が現在に及ぼした影響を考えさせる。 ・ 当たり前の国家としての主権を一部放棄して、経済成長路線をとらざるを得なかった背景を理解させる。
3	グローバル化と私たち	・ 米ソ冷戦と第三勢力、現代社会における国際対立と協調、科学技術の発達と現代文明、またこれからの世界と日本のあり方について理解を深める。 ・ 伝統的な日本の国柄を踏まえて、日本人として世界と対峙する姿勢を考えさせる。

教科	地歴公民	科目名	歴史総合		
学年	1 年	類・コース	看護科	単位数	2
使用教材	【使用教材】 山川出版 歴史総合 近代から現代へノート				
	【副教材】 山川出版 歴史総合 近代から現代へ				

○学習目標

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

○評 価

- ・ 定期考査（中間・期末）
- ・ 小テスト
- ・ 提出物（問題プリント、授業ノートなど）
- ・ 学習状況（授業に取り組む姿勢、出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ 歴史の扉 ・ 近代化と私たち	・ 歴史を学ぶ意義と、資料の読み解き方について基礎的な内容を理解する。 ・ 産業革命以降の世界の動きを日本の明治維新とリンクさせ複層的に理解するとともに、その後の帝国主義への流れを理解する。
2	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・ 二つの世界大戦の原因・経過・影響のみならず、戦争が帝国主義諸国の対立・抗争の結果起こった帝国主義戦争であったことを理解させる。 ・ 敗戦と占領、その後の国内改造が現在に及ぼした影響を考えさせる。 ・ 当たり前の国家としての主権を一部放棄して、経済成長路線をとらざるを得なかった背景を理解させる。
3	グローバル化と私たち	・ 米ソ冷戦と第三勢力、現代社会における国際対立と協調、科学技術の発達と現代文明、またこれからの世界と日本のあり方について理解を深める。 ・ 伝統的な日本の国柄を踏まえて、日本人として世界と対峙する姿勢を考えさせる。

教科	地歴公民	科目名	歴史総合		
学年	1 年	類・コース	グローバル特進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 山川出版 歴史総合 近代から現代へノート				
	【副教材】 山川出版 歴史総合 近代から現代へ				

○学習目標

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

○評 価

- ・ 定期考査（中間・期末）
- ・ 小テスト
- ・ 提出物（問題プリント、授業ノートなど）
- ・ 学習状況（授業に取り組む姿勢、出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ 歴史の扉 ・ 近代化と私たち	・ 歴史を学ぶ意義と、資料の読み解き方について基礎的な内容を理解する。 ・ 産業革命以降の世界の動きを日本の明治維新とリンクさせ複層的に理解するとともに、その後の帝国主義への流れを理解する。
2	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・ 二つの世界大戦の原因・経過・影響のみならず、戦争が帝国主義諸国の対立・抗争の結果起こった帝国主義戦争であったことを理解させる。 ・ 敗戦と占領、その後の国内改造が現在に及ぼした影響を考えさせる。 ・ 当たり前の国家としての主権を一部放棄して、経済成長路線をとらざるを得なかった背景を理解させる。
3	グローバル化と私たち	・ 米ソ冷戦と第三勢力、現代社会における国際対立と協調、科学技術の発達と現代文明、またこれからの世界と日本のあり方について理解を深める。 ・ 伝統的な日本の国柄を踏まえて、日本人として世界と対峙する姿勢を考えさせる。

教科	地歴公民	科目名	公共		
学年	1 年	類・コース	看護科	単位数	2
使用教材	【使用教材】 実教出版 詳述公共				
	【副教材】 実教出版 詳述公共 演習ノート				

○学習目標

- ・現代の諸課題を考察する為の、概念や理論の理解。
- ・概念や理論を活用した、多面的かつ多角的な判断力や討論力の養成。
- ・現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度や、現代社会に生きる人間としての在り方を自覚することの涵養。

○評 価

定期考査 80% 各考査は、教科書・ノート・ワーク・プリントから出題する。

その他 20% プリント提出。

出席点。

総得点で評価する。出席すべき時間の3分の1以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	公共の扉	・社会に参画する自立した主体とは何かを問い、現代社会に生きる人間としての在り方を探究。 ・幸福や正義、公正などに着目した課題の追究や解決。 ・主体的によりよい公共的空間の形成をしようとする主体の育成。
2	よりよい社会の形成に参加する私たち	・自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して主題を追究したり解決することができる。
3	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究できる。

教科	地歴公民	科目名	公共		
学年	2 年	類・コース	グローバル特進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 実教出版 詳述公共				
	【副教材】 実教出版 詳述公共 演習ノート				

○学習目標

- ・現代の諸課題を考察する為の、概念や理論の理解。
- ・概念や理論を活用した、多面的かつ多角的な判断力や討論力の養成。
- ・現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度や、現代社会に生きる人間としての在り方を自覚することの涵養。

○評 価

定期考査 80% 各考査は、教科書・ノート・ワーク・プリントから出題する。

その他 20% プリント提出。

出席点。

総得点で評価する。出席すべき時間の3分の1以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	公共の扉	・社会に参画する自立した主体とは何かを問い、現代社会に生きる人間としての在り方を探究。 ・幸福や正義、公正などに着目した課題の追究や解決。 ・主体的によりよい公共的空間の形成をしようとする主体の育成。
2	よりよい社会の形成に参加する私たち	・自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して主題を追究したり解決することができる。
3	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究できる。

教科	地歴公民	科目名	公共		
学年	2 年	類・コース	未来開進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 実教出版 公共				
	【副教材】 実教出版 公共 マイノート				

○学習目標

- ・現代の諸課題を考察する為の、概念や理論の理解。
- ・概念や理論を活用した、多面的かつ多角的な判断力や討論力の養成。
- ・現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度や、現代社会に生きる人間としての在り方を自覚することの涵養。

○評 価

定期考査 80% 各考査は、教科書・ノート・ワーク・プリントから出題する。

その他 20% プリント提出。出席点。

総得点で評価する。出席すべき時間の3分の1以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学 期	学習内容	学習の目的
1	公共の扉	・社会に参画する自立した主体とは何かを問い、現代社会に生きる人間としての在り方を探究。 ・幸福や正義、公正などに着目した課題の追究や解決。 ・主体的によりよい公共的空間の形成をしようとする主体の育成。
2	よりよい社会の形成に参加する私たち	・自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して主題を追究したり解決することができる。
3	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究できる。

教科	地歴公民	科目名	公共		
学年	2 年	類・コース	アスリート躍進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 実教出版 公共				
	【副教材】 実教出版 公共 マイノート				

○学習目標

- ・現代の諸課題を考察する為の、概念や理論の理解。
- ・概念や理論を活用した、多面的かつ多角的な判断力や討論力の養成。
- ・現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度や、現代社会に生きる人間としての在り方を自覚することの涵養。

○評 価

定期考査 80% 各考査は、教科書・ノート・ワーク・プリントから出題する。

その他 20% プリント提出。

出席点。

総得点で評価する。出席すべき時間の3分の1以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	公共の扉	・社会に参画する自立した主体とは何かを問い、現代社会に生きる人間としての在り方を探究。 ・幸福や正義、公正などに着目した課題の追究や解決。 ・主体的によりよい公共的空間の形成をしようとする主体の育成。
2	よりよい社会の形成に参加する私たち	・自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して主題を追究したり解決することができる。
3	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究できる。

教科	地歴公民	科目名	地理総合		
学年	2 年	類・コース	看護科	単位数	2
使用教材	【使用教材】 帝国書院 高等学校 新地理総合				
	【副教材】 山川出版社 一問一答地理				

○学習目標

- ・ 世界における文化多様性や地域的課題などの理解。
- ・ 地理的事象の関連性を踏まえて、概念などを活用した地理的課題の解決に向けた考察力の養成。
- ・ 世界における多様な生活文化を尊重する精神の涵養。

○評 価

定期考査 80% 各考査は、教科書・ノート・ワーク・プリントから出題する。

その他 20% プリント提出。

出席点。

総得点で評価する。出席すべき時間の 3 分の 1 以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	地図でとらえる現代世界	・ 位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決できる。
2	国際理解と国際協力	・ 場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決できる。 ・ 空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決できる。
3	持続可能な地域づくりと私たち	・ 人間と自然環境との相互依存関係や地域などに着目して、課題を追究したり解決できる。 ・ 空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を探究できる。

教科	地歴公民	科目名	地理総合		
学年	2 年	類・コース	グローバル特進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 帝国書院 高等学校 新地理総合				
	【副教材】 山川出版社 一問一答地理				

○学習目標

- ・世界における文化多様性や地域的課題などの理解。
- ・地理的事象の関連性を踏まえて、概念などを活用した地理的課題の解決に向けた考察力の養成。
- ・世界における多様な生活文化を尊重する精神の涵養。

○評 価

定期考査 80% 各考査は、教科書・ノート・ワーク・プリントから出題する。

その他 20% プリント提出。

出席点。

総得点で評価する。出席すべき時間の3分の1以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	地図でとらえる現代世界	・位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決できる。
2	国際理解と国際協力	・場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決できる。 ・空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決できる。
3	持続可能な地域づくりと私たち	・人間と自然環境との相互依存関係や地域などに着目して、課題を追究したり解決できる。 ・空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を探究できる。

教科	地歴公民	科目名	地理総合		
学年	2 年	類・コース	未来開進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 帝国書院 高校生の地理総合				
	【副教材】 帝国書院 高校生の地理総合ノート				

○学習目標

- ・世界における文化多様性や地域的課題などの理解。
- ・地理的事象の関連性を踏まえて、概念などを活用した地理的課題の解決に向けた考察力の養成。
- ・世界における多様な生活文化を尊重する精神の涵養。

○評 価

定期考査 80% 各考査は、教科書・ノート・ワーク・プリントから出題する。

その他 20% プリント提出。

出席点。

総得点で評価する。出席すべき時間の3分の1以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	地図や地理情報システムでとらえる現代世界	・位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決できる。
2	国際理解と国際協力	・場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決できる。 ・空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決できる。
3	持続可能な地域づくりと私たち	・人間と自然環境との相互依存関係や地域などに着目して、課題を追究したり解決できる。 ・空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を探究できる。

教科	地歴公民	科目名	地理総合		
学年	2 年	類・コース	アスリート躍進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 帝国書院 高校生の地理総合				
	【副教材】 帝国書院 高校生の地理総合ノート				

○学習目標

- ・世界における文化多様性や地域的課題などの理解。
- ・地理的事象の関連性を踏まえて、概念などを活用した地理的課題の解決に向けた考察力の養成。
- ・世界における多様な生活文化を尊重する精神の涵養。

○評 価

定期考査 80% 各考査は、教科書・ノート・ワーク・プリントから出題する。

その他 20% プリント提出。

出席点。

総得点で評価する。出席すべき時間の3分の1以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	地図や地理情報システムでとらえる現代世界	・位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決できる。
2	国際理解と国際協力	・場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決できる。 ・空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決できる。
3	持続可能な地域づくりと私たち	・人間と自然環境との相互依存関係や地域などに着目して、課題を追究したり解決できる。 ・空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を探究できる。

教科	地歴公民	科目名	日本史探究		
学年	2 年	類・コース	グローバル特進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 山川出版 詳説日本史				
	【副教材】 とうほう 日本史のアーカイブ 山川出版 一問一答日本史 第3版				

○学習目標

- ・ 古代から近代までの知識を教授し、1 年で学んだ歴史総合の知識とリンクさせる。
- ・ 考古学や民俗学なども含めた、歴史学の最新の研究の成果を十分に織り込み、日本史の全体像が理解できるように心がける。
- ・ 次年度に入試で使うことを十分に意識させ、受験科目として十分に得点源とするべく実力を養成する。

○評 価

- ・ 定期考査 80%
- ・ 問題演習など、平常点 20%

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ 日本文化のあけぼの ・ 律令国家の形成 ・ 貴族政治と国風文化 ・ 中世社会の成立	・ 古代の日本社会は大陸との密接な関係の下で築かれた事を理解させる。 ・ 平安朝で大陸と距離を置くことにより、独自の日本的な文化の基礎ができたことを理解させる。 ・ 貴族政治の行き詰まりと、武家政治が望まれた背景を理解させる。 ・ 貴族政治から武家政治への流れと両者の違いを理解させる。
2	・ 武家社会の成長 ・ 幕藩体制の確立 ・ 幕藩体制の展開 ・ 幕藩体制の動揺	・ 伝統的な「和の社会」と真っ向から対立する近世初期の特異性を理解させる。 ・ 戦国日本の総決算としての江戸初期武断政治と、戦後処理としての文治政治を対比させる。
3	・ 近代国家の成立	・ 不平等条約改正のための近代化という視点から、帝国主義を俯瞰する。

教科	地歴公民	科目名	世界史探究		
学年	2 年	類・コース	グローバル特進	単位数	2
使用教材	【使用教材】				
	山川出版 詳説世界史				
	【副教材】				
	山川出版 新版 世界史 B 世界史の完全整理 山川出版 世界史用語集 山川出版 一問一答世界史 第3版				

○学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を探究したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

○評 価

- ・ 定期考査（中間・期末）
- ・ 小テスト
- ・ 提出物（問題プリント、授業ノートなど）
- ・ 学習状況（授業に取り組む姿勢、出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ 文明の成立と古代文明の特質 ・ 中央ユーラシアと東アジア世界の展開 ・ 南アジア世界と東南アジア世界の展開	・ 古代文明についての考察する。 ・ オアシス民と遊牧民の関係を多面的に考察し表現する。 ・ 秦・漢帝国の支配体制の変遷と、統一国家の出現が社会に与えた影響を考察する。 ・ 南アジアの統一国家のもとでの、仏教の発展を理解し、ヒンドゥー教が社会に根付いていった背景を考察する。
2	・ 西アジアと地中海世界周辺の国家形成 ・ イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・ イスラーム教の伝播と西アジアの動向	・ イラン諸国家の興亡とイラン文明繁栄の要因を理解する。 ・ アラブの大征服とイスラーム政権の成立、その統治の特徴を理解する。 ・ ヨーロッパ世界の形成について、東西ヨーロッパと比較したうえで理解する。 ・ イスラーム教の諸地域への伝播について理解する。
3	・ ヨーロッパ世界の変容と展開 ・ 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	・ 西ヨーロッパの封建社会とその展開によい、ローマ＝カトリック教会普遍的な権威をもつにいたった背景を理解する。 ・ アジア諸地域で政権交代があいついだ背景や、そこで成立した諸国の共通点を理解する。 ・ モンゴル帝国が成立した背景と、その支配が東アジアに及ぼした影響を理解する。

教科	地歴公民	科目名	日本史探究		
学年	2 年	類・コース	未来開進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 実教出版 精選日本史探究 今につなぐ 未来をえがく				
	【副教材】 実教出版 精選日本史探究 演習ノート				

○学習目標

- ・ 古代から現代にいたる通史の概観を理解し、基礎的な歴史用語を身に付ける。
- ・ 通史だけではなく、テーマ史など大学入試の様々な出題形式も対応できる実力の養成を目指す。

○評 価

- ・ 定期考査（中間・期末）
- ・ 小テスト
- ・ 提出物（問題プリント、授業ノートなど）
- ・ 学習状況（授業に取り組む姿勢、出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ 古代国家の形成と古代文化 原始社会・大陸文化の摂取 律令国家の形成・貴族政治 ・ 武家社会の形成と中世文化 武家社会の形成 下克上の社会	・ 古代の日本社会は大陸との密接な関係の下で築かれた事を理解させる。 ・ 平安朝で大陸と距離を置くことにより、独自の日本的な文化の基礎ができたことを理解させる。 ・ 貴族政治の行き詰まりと、武家政治が望まれた背景を理解させる。
2	・ 近世社会の形成と庶民文化の展開 天下統一・幕藩体制の成立 近世社会の発達・近世社会の動揺 ・ 近代国家の形成と国民文化の発展 開国から明治維新・立憲政治の形成 日本の近代化・デモクラシー 激動する世界と日本	・ 伝統的な「和の社会」と真っ向から対立する近世初期の特異性を理解させる。 ・ 戦国日本の総決算としての江戸初期武断政治と、戦後処理としての文治政治を対比させる。 ・ 不平等条約改正のための近代化という視点から、帝国主義を俯瞰する。 ・ 後発帝国主義国としての経済的要求から、軍国主義化せざるを得なかった背景を理解させる。
3	・ 現代の世界と日本 占領と国内改革 高度経済成長 石油危機と低成長 新しい国際秩序	・ 敗戦と占領、その後の国内改造が現在に及ぼした影響を考えさせる。 ・ 当たり前の国家としての主権を一部放棄して、経済成長路線をとらざるを得なかった背景を理解させる。 ・ 伝統的な日本の国柄を踏まえて、日本人として世界と対峙する姿勢を考えさせる。

教科	地歴公民	科目名	日本史探究		
学年	2 年	類・コース	アスリート躍進	単位数	3
使用教材	【使用教材】 実教出版 精選日本史探究 今につなぐ 未来をえがく				
	【副教材】 実教出版 精選日本史探究 演習ノート				

○学習目標

- ・ 古代から現代にいたる通史の概観を理解し、基礎的な歴史用語を身に付ける。
- ・ 通史だけではなく、テーマ史など大学入試の様々な出題形式も対応できる実力の養成を目指す。

○評 価

- ・ 定期考査（中間・期末）
- ・ 小テスト
- ・ 提出物（問題プリント、授業ノートなど）
- ・ 学習状況（授業に取り組む姿勢、出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ 古代国家の形成と古代文化 原始社会・大陸文化の摂取 律令国家の形成・貴族政治 ・ 武家社会の形成と中世文化 武家社会の形成 下克上の社会	・ 古代の日本社会は大陸との密接な関係の下で築かれた事を理解させる。 ・ 平安朝で大陸と距離を置くことにより、独自の日本的な文化の基礎ができたことを理解させる。 ・ 貴族政治の行き詰まりと、武家政治が望まれた背景を理解させる。
2	・ 近世社会の形成と庶民文化の展開 天下統一・幕藩体制の成立 近世社会の発達・近世社会の動揺 ・ 近代国家の形成と国民文化の発展 開国から明治維新・立憲政治の形成 日本の近代化・デモクラシー 激動する世界と日本	・ 伝統的な「和の社会」と真っ向から対立する近世初期の特異性を理解させる。 ・ 戦国日本の総決算としての江戸初期武断政治と、戦後処理としての文治政治を対比させる。 ・ 不平等条約改正のための近代化という視点から、帝国主義を俯瞰する。 ・ 後発帝国主義国としての経済的要求から、軍国主義化せざるを得なかった背景を理解させる。
3	・ 現代の世界と日本 占領と国内改革 高度経済成長 石油危機と低成長 新しい国際秩序	・ 敗戦と占領、その後の国内改造が現在に及ぼした影響を考えさせる。 ・ 当たり前の国家としての主権を一部放棄して、経済成長路線をとらざるを得なかった背景を理解させる。 ・ 伝統的な日本の国柄を踏まえて、日本人として世界と対峙する姿勢を考えさせる。

教科	地歴公民	科目名	世界史探究		
学年	2 年	類・コース	未来開進_選択	単位数	2
使用教材	【使用教材】 第一学習社 高等学校 世界史探究				
	【副教材】 第一学習社 世界史探究ノート				

○学習目標

- ・世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって歴史的思考力を培い、日本人としての自覚と資質を養う。
- ・平均 10 点アップ
- ・開進から私大の一般入試を受験させる。

○評 価

確認テスト 80% 各考査は、教科書・ノート・ワーク・プリントから出題する。
 課題 20% 毎時間中のプリント提出。
 10%は出席点。 総得点で評価する。
 出席すべき時間の3分の1以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ 文明以前の人類 ・ オリент世界と東地中海世界 ・ 地中海世界と西アジア ・ 南アジア世界 ・ 東アジア世界	・ 人類の特徴とその起源について考察し、人類の進化の過程を理解させる。 ・ 西アジアとエジプト、インドの民族がオリент世界に与えた影響について理解させる。 ・ 仏教・ヒンドゥー教の成立が諸地域に広まっていき流れを説明する。仏像などの過去の文化財を学習する。
2	・ イスラム世界の成立と発展・東アジア世界の変容・ヨーロッパ世界の成立と変容 ・ 中華帝国とアジア・大交易時代 ・ 産業資本主義の発展と帝国主義	・ 6～9 世紀の西アジアの情勢の変化に注目させ、イスラーム成立の背景を理解させる。・中国史の流れ、支配体制・軍事・行政・財政などすべての政策を理解させる。 ・ 産業革命がイギリスで始まった背景・要因について理解させ近代世界の流れを理解させる。
3	・ アジア諸地域の変革運動 ・ 世界戦争の時代 ・ 国民国家体制と東西の対立	・ 第一次世界大戦の原因・経過・影響のみならず、戦争が帝国主義諸国の対立・抗争の結果起こった帝国主義戦争であったことを理解させる。 ・ 第二次世界大戦が、第一次世界大戦の総力戦・イデオロギー戦という性格を、はるかに上回った点に留意するとともに第二次世界大戦の一環として太平洋戦争の意味を正しくとらえさせる

教科	地歴公民	科目名	日本史探究		
学年	3 年	類・コース	グローバル特進	単位数	3
使用教材	【使用教材】 山川出版 詳説日本史				
	【副教材】 一問一答日本史B用語問題集 (大改訂)日本史のアーカイブ				

○学習目標

- ・ 近世～現代史の知識を教授し、古代・中世の歴史と現在をリンクさせる。
- ・ 大学入試の様々な出題形式に対応できる実力を身につける。
- ・ 通史だけではなく、テーマ史にも対応できる実力を身につける。

○評 価

- ・ 定期考査 80%
- ・ 問題演習など、平常点 20%

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ 近世の幕開け ・ 幕藩体制の成立と展開 ・ 幕藩体制の動揺 ・ 近世から近代へ ・ 近代国家の成立 ・ 近代国家の展開	・ 伝統的な「和の社会」と真っ向から対立する近世初期の特異性を理解させる。 ・ 戦国日本の総決算としての江戸初期武断政治と、戦後処理としての文治政治を対比させる。 ・ 不平等条約改正のための近代化という視点から、帝国主義を俯瞰する。
2	・ 近代の産業と生活 ・ 恐慌と第二次世界大戦 ・ 戦後の日本 ・ センター試験形式の問題演習	・ 帝国主義的拡大の主目的が、経済権益であったことを理解させ、基本的な世界構造が現在と変わらないことを教授する。 ・ 二度の世界大戦が帝国主義の総決算であることを理解させ、戦後の体制も戦勝国中心のものであることを見抜く目を養う。 ・ 冷戦体制を通して、戦後の世界でも帝国主義が変わっていないことに気付かせる。 ・ 選択問題の形式に慣れ、正答と誤答の選別が出来る目を養う。
3	・ テーマ史形式の問題演習	・ 縦割りの歴史の知識を横断的に運用できることを目指す。

教科	地歴公民	科目名	世界史探究		
学年	3 年	類・コース	グローバル特進	単位数	3
使用教材	【使用教材】				
	山川出版 詳説世界史				
	【副教材】				
	山川出版 新版 世界史 B 世界史の完全整理 山川出版 世界史用語集 改訂版 山川出版 一問一答世界史 第3版				

○学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を探究したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

○評 価

- ・ 定期考査（中間・期末）
- ・ 小テスト
- ・ 提出物（問題プリント、授業ノートなど）
- ・ 学習状況（授業に取り組む姿勢、出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ 大交易・大交流の時代 ・ アジアの諸帝国の繁栄 ・ 近世ヨーロッパ世界の動向 ・ 産業革命と環大西洋革命	・ アジア交易世界の興隆について中国の社会・経済・文化との関係を考察する。 ・ オスマン帝国・サファヴィー朝・ムガル帝国の興隆について理解する。 ・ ルネサンス・宗教改革がもつ世界史的な意義を考察する。 ・ 世界の一体化とイギリス産業革命との関係について理解する。
2	・ イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ・ アジア諸地域の動揺 ・ 帝国主義とアジアの民族運動 ・ 第一次世界大戦と世界の変容	・ ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動について理解する。 ・ オスマン帝国の動揺の要因を多面的・多角的に考察する。 ・ 帝国主義の支配を受けた地域における社会の変化を多面的・多角的に考察する。 ・ 第一次世界大戦がもたらした影響を考察する。
3	・ 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 ・ 冷戦と第三世界の台頭 ・ 冷戦の終結と今日の世界	・ 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊について理解する。 ・ 冷戦の展開について、多面的・多角的に考察する。 ・ 東西対立の緩和が、諸地域にもたらした影響を理解する。 ・ 今日の国際関係の特徴と、必要とされる協力の内容を多面的・多角的に考察し表現する。

教科	地歴公民	科目名	地理探究		
学年	3 年	類・コース	グローバル特進	単位数	3
使用教材	【使用教材】 帝国書院 新詳地理探究				
	【副教材】 新詳地理探究演習ノート				

○学習目標

- ・ 世界における文化多様性や地域的課題などの理解。
- ・ 地理的事象の関連性を踏まえて、概念などを活用した地理的課題の解決に向けた考察力の養成。
- ・ 世界における多様な生活文化を尊重する精神の涵養。

○評 価

定期考査 80% 各考査は、教科書・ノート・ワーク・プリントから出題する。

その他 20% プリント提出。

出席点。

総得点で評価する。出席すべき時間の 3 分の 1 以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	地図でとらえる現代世界	・ 位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決できる。
2	国際理解と国際協力	・ 場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決できる。 ・ 空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決できる。
3	持続可能な地域づくりと私たち	・ 人間と自然環境との相互依存関係や地域などに着目して、課題を追究したり解決できる。 ・ 空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を探究できる。

教科	地歴公民	科目名	倫理		
学年	3 年	類・コース	グローバル特進・St	単位数	2
使用教材	【使用教材】				
	第一学習社 高等学校 改訂版 倫理				
	【副教材】				
	第一学習社 高等学校 改訂版 倫理ノート				
	第一学習社 テオリア 最新 倫理資料集				

○学習目標

「青年期の課題と人間としての在り方
生き方」と「現代と倫理」を学ぶ。

○評 価

定期考査 80% 各考査は、教科書、ノート、倫理ノートの中から出題する。

課題 20% 倫理ノート・ノート。

総得点で評価する。出席すべき時間の 3 分の 1 以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	青年期の課題と自己形成・人間としての自覚・国際社会に生きる日本人としての自覚	・よく生きることを求めて ・青年期の課題 ・自己の探究 ・現代の青年期 ・ギリシャの思想 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国の思想 について理解する。
2	国際社会に生きる日本人としての自覚・現代に生きる人間の倫理	・日本の風土と伝統 ・元来思想の受容 ・町人意識のめざめと庶民思想 ・西洋思想との出会い ・現代の特質と倫理的課題 ・人間の尊厳 ・近代の科学革命自然観 ・自由で平等な社会の実現 ・人間性の回復と主体性の確立 ・現代の思想と人間像 ・生命への畏敬と社会奉仕 について理解する。
3	現代の諸課題と倫理	・生命倫理と課題 ・環境倫理と課題 ・家族・地域社会と課題 ・情報社会と課題 ・異文化の理解と課題 ・人類の福祉と課題について理解する。

教科	地歴公民	科目名	政治・経済		
学年	3 年	類・コース	グローバル特進・St	単位数	2
使用教材	【使用教材】 第一学習社 高等学校 改訂版 政治・経済				
	【副教材】 第一学習社 改訂版 政治・経済ノート				

○学習目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

○評 価

- ・ 定期考査 80%
- ・ 提出物・学習状況 20%

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ 現代の政治 ・ 現代の国際政治と日本	・ 政治の仕組みを学び、日本の政治と国際政治の関りを理解する。
2	・ 現代の経済	・ 経済の仕組みを学び、現代社会における課題等を考察する力を身に着ける。
3	・ 現代社会の課題	・ 現代社会の課題を学び、自分自身が今後どのような取り組みをしていくべきかということを真剣に考え、周囲と課題に取り組む力を身に着ける。

教科	地歴公民	科目名	地理探究		
学年	3 年	類・コース	未来開進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 東京書籍 地理探究				
	【副教材】 要点マスター地理探究 整理と演習				

○学習目標

- ・世界における文化多様性や地域的課題などの理解。
- ・地理的事象の関連性を踏まえて、概念などを活用した地理的課題の解決に向けた考察力の養成。
- ・世界における多様な生活文化を尊重する精神の涵養。

○評 価

定期考査 80% 各考査は、教科書・ノート・ワーク・プリントから出題する。

その他 20% プリント提出。

出席点。

総得点で評価する。出席すべき時間の3分の1以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	地図でとらえる現代世界	・位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決できる。
2	国際理解と国際協力	・場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決できる。 ・空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決できる。
3	持続可能な地域づくりと私たち	・人間と自然環境との相互依存関係や地域などに着目して、課題を追究したり解決できる。 ・空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を探究できる。

教科	地歴公民	科目名	世界史探究		
学年	3 年	類・コース	アスリート躍進	単位数	3
使用教材	【使用教材】 実教出版 世界史探究				
	【副教材】 世界史探究 マイノート				

○学習目標

・世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって歴史的思考力を培い、日本人としての自覚と資質を養う。

○評 価

定期考査 80% 各考査は、教科書・ノート・ワーク・プリントから出題する。

課題 20% 毎時間中のプリント提出。

10%は出席点。

総得点で評価する。出席すべき時間の3分の1以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・文明以前の人類 ・オリエント世界と東地中海世界 ・地中海世界と西アジア ・南アジア世界 ・東アジア世界	・ 人類の特徴とその起源について考察し、人類の進化の過程を理解させる。 ・ 西アジアとエジプト、インドの民族がオリエント世界に与えた影響について理解させる。 ・ 仏教・ヒンドゥー教の成立が諸地域に広まっていき流れを説明する。仏像などの過去の文化財を学習する。
2	・ イスラム世界の成立と発展 ・ 東アジア世界の変容 ・ ヨーロッパ世界の成立と変容 ・ 中華帝国とアジア・大交易時代 ・ 産業資本主義の発展と帝国主義	・ 6～9 世紀の西アジアの情勢の変化に注目させ、イスラーム成立の背景を理解させる。・中国史の流れ、支配体制・軍事・行政・財政などすべての政策を理解させる。 ・ 産業革命がイギリスで始まった背景・要因について理解させ近代世界の流れを理解させる。
3	・ アジア諸地域の変革運動 ・ 世界戦争の時代 ・ 国民国家体制と東西の対立	・ 第一次世界大戦の原因・経過・影響のみならず、戦争が帝国主義諸国の対立・抗争の結果起こった帝国主義戦争であったことを理解させる。 ・ 第二次世界大戦が、第一次世界大戦の総力戦・イデオロギー戦という性格を、はるかに上回った点に留意するとともに第二次世界大戦の一環として太平洋戦争の意味を正しくとらえさせる

教科	地歴公民	科目名	日本史探究		
学年	3 年	類・コース	未来開進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 実教出版 精選日本史探求				
	【副教材】 精選日本史探求 演習ノート				

○学習目標

- ・ 日本列島に暮らす人々が経験した歴史を対象に様々な「問い」に対し理解を深める。
- ・ 歴史的思考能力を養い、日本史を読み解く力をつける。

○評 価

定期考査 80% 各考査は、教科書・ノート・ワーク・プリントから出題する。

課題 20% 毎時間中のプリント提出。

10%は出席点。

総得点で評価する。出席すべき時間の3分の1以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ 原始・古代の日本と東アジア ・ 中世の日本	・ 島国としての日本の形成と、大陸文化の受容、そこからの独自文化の発展を通し、現代日本に通じる過程を考える。 ・ 農耕社会から貴族政治、武士による封建制度の成立など、支配するものによって変わる社会体制の把握、理解。
2	・ 中世の日本と世界 ・ 近世の日本	・ 国内の動乱から統一に至るまでの流れを理解する。 ・ 戦国の時代から江戸時代の社会体制の変化、民衆の暮らしの変化や産業の変化など、鎖国体制下で作られた日本独自の文化を理解する。
3	・ 近現代の地域・日本と世界	・ 明治時代から始まる近代の政治、外交に触れ自分たちの暮らす日本がどのように作られていったのかを理解する。 ・ 二回の世界大戦を通じての日本の立ち場、世界の中での立ち位置など、今日の国際秩序が形成されるに至った経緯を理解し、考える機会を設ける。

教科	地歴公民	科目名	時事能力探究		
学年	3 年	類・コース	未来開進_選択	単位数	2
使用教材	【使用教材】 2024 年度ニュース検定 公式テキスト& 問題集「時事力」基礎編(3・4 級対応)				
	【副教材】 無し				

○学習目標

今の時代を生きるために欠かせない、ニュースを読み解き、活用する力を育む。
現代社会のできごとを多角的・公正に理解・判断する。ニュース検定合格を目指す。

○評 価

確認テスト 70% 各考査は、テキストを基に作成する。
課題提出・出席・授業態度 30% 総得点で評価する。
出席すべき時間の 3 分の 1 以上の欠席があると評価せず、単位も与えない。

○学習内容

学 期	学習内容	学習の目的
1	政治・経済	主に日本の政治・経済における仕組みや問題を基に、近年話題となった政治・経済の出来事・現象などを取り上げて、それらに関する理解を深めたり、自身の考えを述べることができる。
2	暮らし 社会・環境	主に日本の暮らしや社会・環境における仕組みや問題を基に、近年話題となった暮らしや社会・環境に関する出来事・現象などを取り上げて、それらに関する理解を深めたり、自身の考えを述べることができる。
3	国際	主に日本の国際関係における仕組みや問題を基に、近年話題となった国際関係に関する出来事・現象などを取り上げて、それらに関する理解を深めたり、自身の考えを述べることができる。